

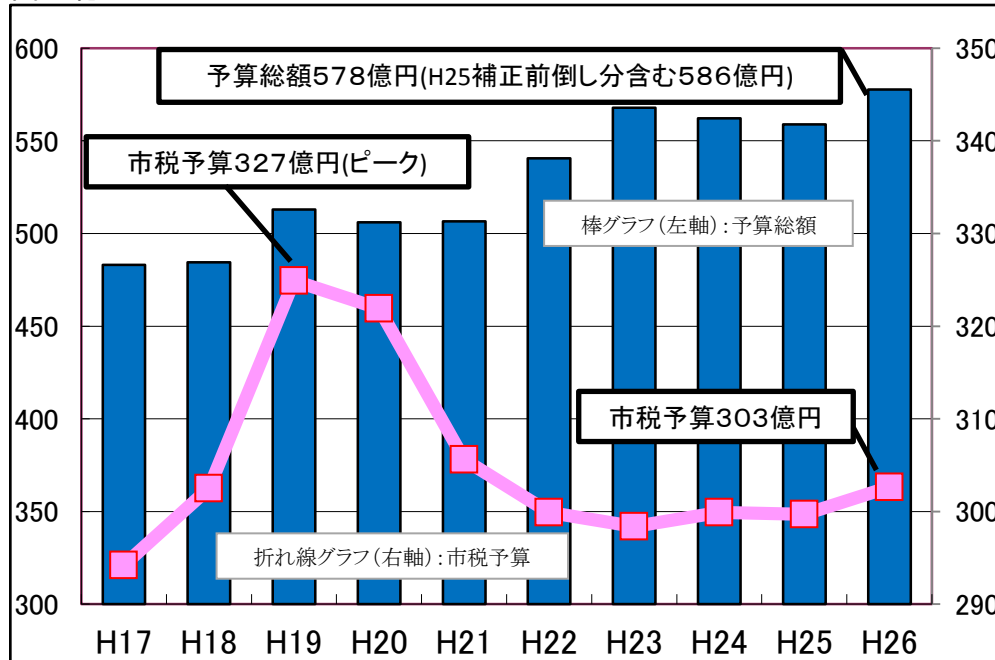


平成26年度予算のポイント ~予算規模~

- 一般会計の予算規模は**577.7億円**となり**過去最大**（前年度比+18.9億円[+3.4%]）
- 国の補正予算等に伴い平成25年度に前倒した事業費を含めた**実質的な予算規模は585.6億円**（前年度比+26.8億円[+4.8%]）

■ 予算規模の推移

単位: 億円

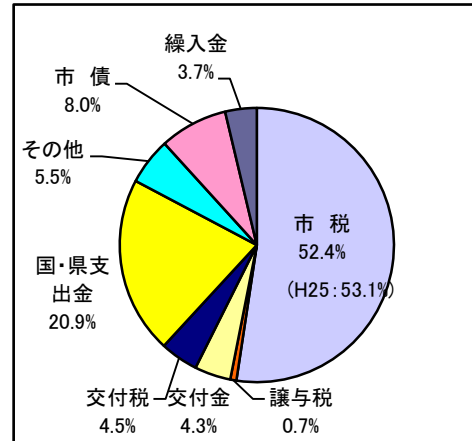


(参考) 扶助費決算額の推移

71 74 81 88 93 129 137 141 150 152

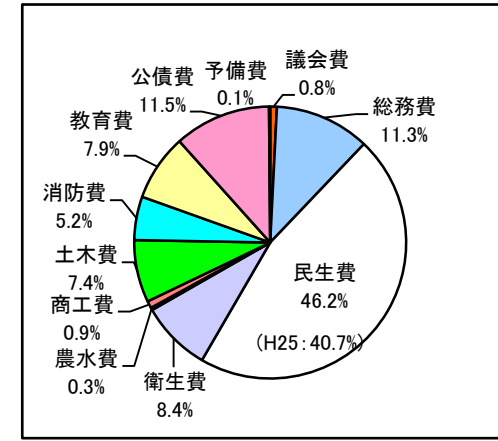
※H25・H26の市税・扶助費は当初予算額を表示

■ 歳入の構成



家屋の新增築による固定資産税及び個人市民税等の増加による**市税の増(6億円)**や、**臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金に伴う国庫支出金の増(約6億円)**を見込むものの、**財源不足額の増加に対応するため基金繰入金が増加した。**

■ 歳出の構成



国の制度変更等により生活保護費が減少したものの、**障害者自立支援給付費や国民健康保険特別会計繰出金の増加、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の交付、さらには子ども未来部の新設に伴う関係事業の移動により、民生費が約40億円増加した。**



平成26年度予算のポイント ～基本方針等～

- 平成25年8月末に「26年度3か年・予算編成における基本方針」を総合計画の基本構想を踏まえ策定
- 26年度予算においては、上記方針を踏まえつつ、「子どもから高齢者まで すべてにやさしい 思いやり市政」の実現に向け、**6分野に重点**をおいた予算を編成
- また、市長マニフェストに基づき、「利便性、思いやり、行政経営」を3つの柱とした大規模な組織再編を25年ぶりに実施

■ 予算編成における基本方針

今後対応すべき諸課題

- 高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増加
- 生産年齢人口の減少による市税収入の減収
- これまで整備してきた公共施設やインフラ資産の大量更新問題への対応

マニフェストの取組方針

- 全39項目中、24～25年度の2か年で31項目79%が達成
- 残りの8項目について取組方針を決定

個別懸案事項等の取組方針

- 行政評価の実施等により8項目にわたる懸案事項等が顕在化
- これらを解消するための取組方針を決定



■ 予算のポイント(6分野に重点)

1 子ども未来部の新設・子育て支援の強化

⇒ 認可保育所・家庭保育室の新設支援等、保育コンシェルジュの配置
家庭保育室の保護者負担軽減制度の拡充ほか

2 教育の充実・生涯学習の推進

⇒ 小中学校全教室に大型モニター設置、特別支援学級を全小学校整備へ
セカンドブックスタート事業の実施、学習支援員の増員ほか

3 高齢者・壮年者の健康づくりの支援

⇒ 個別肺がん検診の開始、高齢者向け住宅改修費の助成方法の充実
健康ライフ応援事業の開始、介護予防事業の充実ほか

4 安全・安心の確保

⇒ 上尾中学校改築事業の本格化、原市駅バリアフリー化
地域防災計画の改訂、竜巻注意情報の発信、防災備蓄の拡充ほか

5 エコシティの実現と産業活性化の促進

⇒ 電気自動車用急速充電設備設置、電気自動車配備、自転車レーン整備
農商工観ポータルサイトの開設、農業体験農園の開設支援ほか

6 組織再編による市民サービスの拡充

⇒ 証明書発行センター・パスポートセンターの設置
子ども未来部や行政経営部の設置ほか



平成26年度予算のポイント～6分野に重点～

1. 子ども未来部の新設・子育て支援の強化

- ・市立原市・原市団地保育所の移転統合に向けた設計(H28オープン予定)【新規】
- ・民間保育所の新設支援(2か所)・運営支援(1か所)【新規】
- ・保育コンシェルジュの配置【新規】
- ・家庭保育室入所者の補助拡充【拡充】
- ・家庭保育室の新設に伴う運営委託(2か所)【拡充】
- ・国の制度改正に伴う幼稚園就園奨励費補助の増額【拡充】
- ・中学校修了時までのこども医療費の無料化を継続実施

2. 教育の充実・生涯学習の推進

- ・小中学校の全教室への大型モニター設置(デジタル教科書の活用)【拡充】
- ・きめ細やかな教育のため特別支援学級を全小学校に整備(H26-27)【新規】
- ・セカンドブックスタート事業(全児童に読書パスポートを配付)【新規】
- ・現図書館本館を移転・新中央図書館の整備に向け検討開始【新規】
- ・アピースマイルサポーターの増員(5名増員で75人体制へ)【拡充】

3. 高齢者・壮年者の健康づくりの支援

- ・各医療機関での個別の肺がん検診の開始【新規】
- ・高齢者向け住宅改修費の助成方法の充実(立替払いから一部負担へ)【拡充】
- ・健康ライフ応援事業の開始【新規】
- ・アッピー元気体操(一次予防)の充実(実施会場の増設・リーダー増員)【拡充】
- ・元気アップ教室(二次予防)の充実(実施期間を通年化)【拡充】
- ・各種検(健)診の受診率向上を図るべく対象者への個別通知発送を継続実施

4. 安全・安心の確保

- ・上尾中学校改築事業の本格化(H27完成)【新規】
- ・ニューシャトル原市駅のバリアフリー化(H26完成)
- ・新たな被害想定に基づく地域防災計画の改訂【新規】
- ・気象情報会社との連携によるスピーディな竜巻注意情報の発信【新規】
- ・通学路安全対策事業、ゾーン30整備事業の実施【拡充】
- ・帰宅困難者用防災倉庫を上尾駅に整備【新規】
- ・橋りょう長寿命化事業を継続実施

5. エコシティの実現と産業活性化の促進

- ・市役所東側駐車場に電気自動車用急速充電設備を設置(無料)【新規】
- ・電気自動車の配備(2台)【新規】
- ・自転車レーンの整備・放置自転車の対策強化【拡充】
- ・農商工観ポータルサイトの開設【新規】
- ・中小企業コーディネーターを配置【新規】
- ・農業体験農園開設のための補助制度創設【新規】

6. 組織再編による市民サービスの拡充

- ・証明書発行センター(ワンストップ化)・パスポートセンターの設置【新規】
- ・子ども未来部と子ども・若者相談センターの設置【新規】
- ・防災体制を強化するべく危機管理防災課の設置【新規】
- ・市長政策室と行政経営部の新設【新規】
(政策立案・広報広聴・秘書部門の一体化と経営的視点での行政運営)
- ・事務の整理統合による市民サービスの拡充とコストカット【新規】
(上下水道部、都市整備部、道路課等により課・課内室▲4)



平成26年度予算のポイント ～重点事業1～

**新規
拡充**

◆子ども未来部の新設・子育て支援の強化

さらに

～家庭保育室を含む保育所定員を拡充 平成26年度+121人、平成28年度までに+140人

新規

市立原市・原市団地保育所の移転統合設計 5,770万円
(待機児童が多い0歳児クラスを新たに確保)

民間保育所の新設支援(2か所新設) 2億6,799万円

拡充

民間保育所の運営支援等(1か所増) 1億 586万円

新規

保育コンシェルジュ配置 385万円

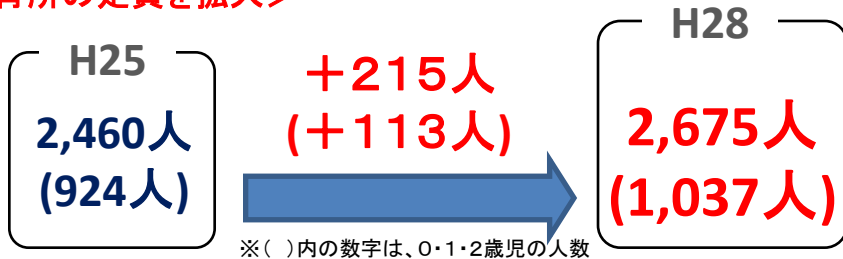
拡充

家庭保育室入所者の補助拡充 1,866万円

家庭保育室の運営委託(2か所増) 1,082万円

幼児教育に係る保護者負担の軽減 9,095万円

<保育所の定員を拡大>



(参考) 当市の待機児童数

平成25年4月1日時点の待機児童数 40人
うち0～2歳児 36人

<家庭保育室の定員を拡大>



家庭保育室入所者補助拡充

- 中低所得者世帯を中心に年間6～12万円を加算
- 兄弟で入所している世帯に兄弟加算を新設 年額6万円

保育コンシェルジュの配置

- 保護者に寄り添った相談体制の整備
- 保護者のニーズに合った保育サービスを紹介

<保育所(新規)>

名称	定員	年度
ココファン・ナーサリー北上尾	75(30)	H26
(仮)ふじ保育園	90(39)	H27
(仮)つつみの森認定こども園	60(24)	H27
(仮)原市保育所 [現原市保育所・現原市団地保育所]	120(45) [130(25)]	H28

<家庭保育室(新規)>

名称	定員	年度
グローバルキッズアリオ上尾園	20	H26
ナーサリー-deアンジェ上尾	26	H26

※定員の()内の数字は、0・1・2歳児の人数

幼児教育の保護者負担軽減制度の拡充(国の制度)

- 低所得者世帯・多子世帯 年間最大29万円を加算



平成26年度予算のポイント ～重点事業2～

新規
拡充

◆教育の充実・生涯学習の推進

拡充

小中学校の全教室に大型モニターを設置 547万円
特別支援学級を全小学校に整備へ 4,448万円

新規

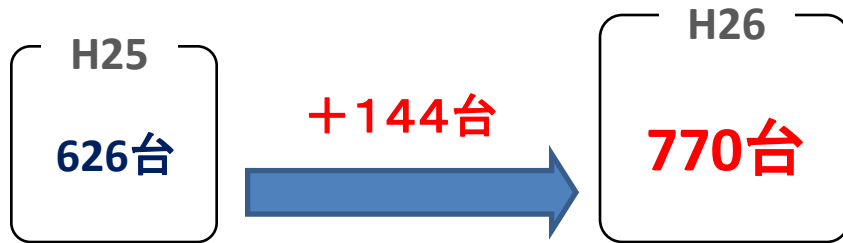
セカンドブックスタート事業の実施 797万円
新中央図書館の整備に向けた検討 413万円

拡充

アッピースマイルサポーターの増員 615万円

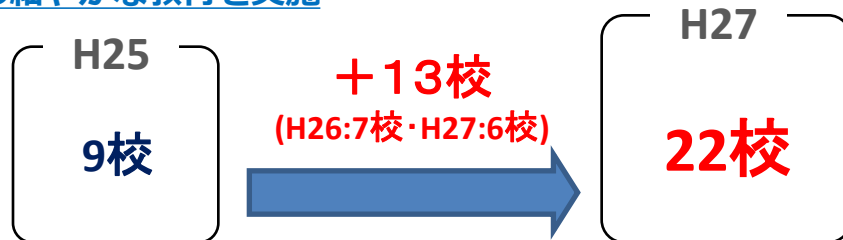
<大型モニターの整備率100%へ>

学力向上をめざしデジタル教科書の活用促進

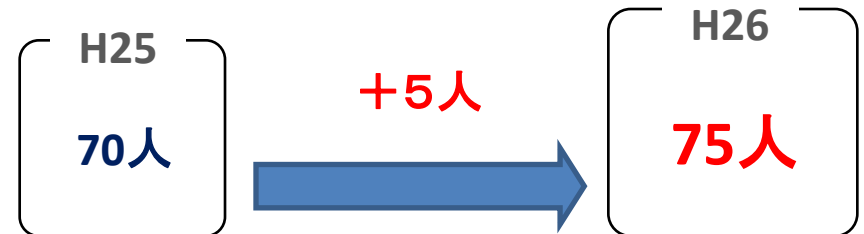


<小学校の特別支援学級整備率100%へ>

きめ細やかな教育を実施



<アッピースマイルサポーター(学習支援員)の増員>





平成26年度予算のポイント ～重点事業3～

新規
拡充

◆ 高齢者・壮年者の健康づくりの支援

新規	各医療機関での個別の肺がん検診の開始	1,423万円
拡充	高齢者向け住宅改修費の助成方法の充実	-

新規	健康ライフ応援事業の開始	258万円
拡充	介護予防事業(アッピー元気体操・元気アップ教室)の充実	543万円

各医療機関での個別の肺がん検診の開始

日本人の死亡率が最も高い肺がん



健康ライフ応援事業の開始

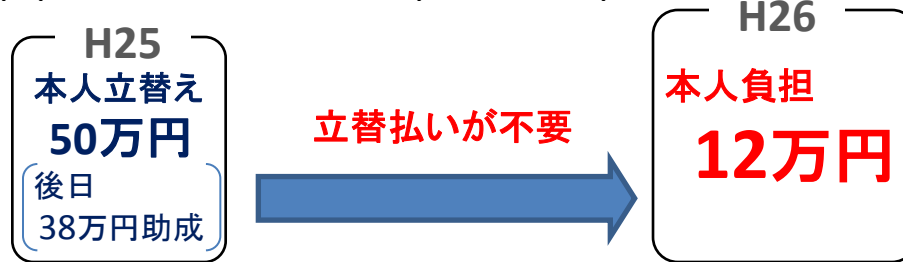
- 健康寿命の延伸を目的
- 高齢者・壮年者のサイクリング教室を開催し、運動を習慣化**

介護予防事業の充実

- <アッピー元気体操>
- 会場増設(71→75か所)** ※H18のスタート時は9会場
- <元気アップ教室>
- 通年化(6か月→12か月)**
- メニュー拡充(14→20)入**

高齢者向け住宅改修費の助成方法の充実

(例)住宅改修費が50万円の場合(非課税高齢者)



工事費の一部の負担で改修が可能に



各機関の支援対象者
運動による
健康づくり事業



工事費の全額を一時的に立替え



平成26年度予算のポイント ～重点事業4～

新規
拡充

◆安全・安心の確保

新規 上尾中学校改築事業(H25前倒し含む) 8億7,776万円
拡充 原市駅のバリアフリー化 1億3,164万円

新規 防災備蓄の拡充(帰宅困難者対策) 2,051万円
地域防災計画の改訂・竜巻注意情報の発信 1,159万円
拡充 通学路安全対策の実施 1,593万円

上尾中学校校舎改築事業の本格化(平成27年度完成予定)

○市内全小中学校の耐震化完了

年度	年割額	全体計画		
		特定財源		一般財源
		国県支出金	地方債	
25	585,000	109,157	475,300	543
26	228,500	17,585	202,400	8,515
27	1,896,500	339,324	1,467,000	90,176
計	2,710,000	466,066	2,144,700	99,234

※国の補正予算を活用するため平成26年度当初予算から前倒し

ニューシャトル原市駅のエレベーター、トイレ整備

○市内全駅のバリアフリー化完了

平成25年度：上りホームのエレベーター設置

平成26年度：下りホームのエレベーター設置、トイレ整備

(参考)JR上尾駅、北上尾駅、ニューシャトル沼南駅は実施済

防災備蓄事業(帰宅困難者対策・想定避難市民)

<帰宅困難者用>

- 上尾駅に防災倉庫を新設
- 約1万7千人分の帰宅困難者食料を順次整備

<想定避難市民用>

- 約2万1千人分の想定避難市民用食料の入替え

地域防災計画の改訂

- 埼玉県公表予定の新たな被害想定に基づく地域防災計画の改訂

竜巻注意情報の発信

- 気象情報会社との連携によるスピーディな竜巻注意情報の発信

通学路安全対策事業・ゾーン30整備事業

- 学校周辺道路の安全対策(一定エリア30km/h制限)
- 通学路危険箇所を平成27年度までにすべて解消



平成26年度予算のポイント ～重点事業5～

新規 拡充

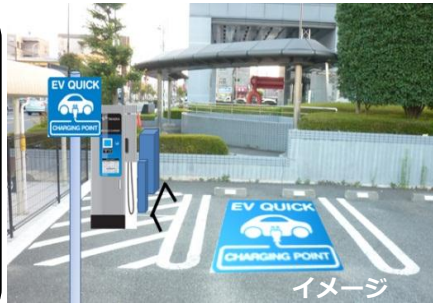
◆エコシティの実現

新規

電気自動車用急速充電設備の設置 809万円
電気自動車の配備(2台) 713万円

電気自動車用急速充電設備の概要

- 設置場所：上尾市役所東側駐車場
- 利用時間：8時30分～17時15分
(日曜、祝日除く)
- 利用料金：無料
- 市役所に配備する電気自動車
2台(ミニキャブミーブ)



拡充

自転車レーンの整備(中新井小泉線) 2,203万円
放置自転車対策の強化 460万円

自転車レーンの整備

- 市総合計画において「自転車のまちづくり」の推進を位置づけ(H25～)
- <自転車レーンの整備>
1.7Km(中新井小泉線) 2,203万円
(H25：1.2Km(上尾平方線)整備済)
- <放置自転車対策>
路上駐輪場の社会実験(上尾駅東口) 64万円
自転車放置禁止区域の取締り強化(上尾駅西口) 396万円

新規

◆産業活性化の促進

新規

中小企業コーディネーター等の設置 333万円
農商工観ポータルサイトの開設 1,235万円
農業体験農園開設補助制度の創設 200万円

産業振興ビジョンに基づく事業

中小企業コーディネーター設置

中小企業を積極的にサポート

訪問によるニーズ把握と個別支援、経営相談・販路拡大・技術支援

農商工観ポータルサイト開設

市内消費の拡大・企業のPR

市民が気軽に利用できる、市内産業全体を網羅する総合サイトを開設

産業振興会議の設置

市に対し産業振興策を提言

有識者や企業経営者等による市内産業の振興策の検討を行い、市に対し提言

相乗効果

農業体験農園の特徴～遊休農地活用～

開設に係る諸経費の1/2を補助(上限100万円)

- ①栽培指導付き農園
園主の指導のもと、入園者が種まきから収穫までの一連の農作業を実施。
- ②手ぶら農園
種苗、必要な農機具は全て園主が用意。各段階での農作業も掲示板等に記載。
- ③仲間づくり農園
農家や利用者同士の交流により、新たなコミュニティを構築。



平成26年度予算のポイント ～重点事業6～

新規

◆組織再編による市民サービスの拡充

～25年ぶりに大規模な組織再編を実施～

- 1 利便性 ★ワンストップ窓口の実現
- 2 思いやり ★子育て・福祉に特化 福祉サービスの推進
- 3 行政経営 ★スピーディな意思決定と事務の整理統合

7,856万円 総額1億4,131万円(H25・26)

○1階に証明書発行センターとパスポートセンターを新設

証明書発行窓口を集約しワンストップ化

平成26年10月開設予定

○子ども未来部と子ども・若者相談センターを新設

子育て部門を強化

○危機管理防災課を新設

防災体制を強化

○市長政策室・行政経営部の新設

経営的視点を取り入れスピーディな意思決定

○公共施設の更新問題に対応するべく施設課を新設

アセットマネジメントを推進[平成26・27マネジメント計画策定予定]

○事務を整理統合し、市民サービスの拡充

上下水道部・都市整備部・道路課等



1階窓口のイメージ

- ◆市民窓口の利便性向上
- ◆組織合理化(課・課内室▲4)



平成26年度予算のポイント ～特別会計・企業会計～

- 特別会計及び企業会計の予算規模は**502.5億円**となり**過去最大**（前年度比+31.3億円[+6.6%]）
- 一般会計と特別会計及び企業会計を合わせた全会計の予算総額は**1,080.2億円**となり**過去最大**（前年度比+50.2億円[+4.9%]）

■特別会計・企業会計予算の概要

単位：億円、%

区 分		平成26年度 予算額 A	平成25年度 予算額 B	比較 (A-B) C	増減率 C/B×100
特 別 会 計	国民健康保険会計	244.9	236.2	8.7	3.7
	公共下水道事業会計	48.3	46.1	2.2	4.8
	介護保険会計	120.8	114.5	6.3	5.5
	後期高齢者医療会計	21.9	20.6	1.3	6.4
企業会計	水道事業会計	66.6	53.8	12.8	23.8
特別会計・企業会計小計		502.5	471.2	31.3	6.6
(参考) 一般会計		577.7	558.8	18.9	3.4
合 計		1080.2	1030.0	50.2	4.9

【特別会計及び企業会計の特徴】

<国民健康保険会計>

- 医療費の増加に伴う保険給付費の増 +6.1億円

<公共下水道事業会計>

- 公共下水道整備計画に沿って進める管渠整備費の増 +2.1億円

<介護保険会計>

- 高齢化等による介護サービス利用の増加に伴う保険給付費の増 +5.3億円

<後期高齢者医療会計>

- 後期高齢者数の増加に伴う保険料納付金の増 +1.3億円

<水道事業会計>

- 新会計制度への移行に伴い退職手当引当金等が発生 +5.1億円
- 浄水施設の設備改修の増 +2.3億円